

2020/03/16 (月)

朝の礼拝

聖書 ローマの信徒への手紙12章2節 (新約聖書291頁)

2 あなたがたはこの世に倣ってはなりません。むしろ、心を新たにしておいて自分を変えていただき、何が神の御心であるか、何が善いことで、神に喜ばれ、また完全なことであるかをわきまえるようになりなさい。

心を新たにしておいて

突然の臨時休校でしたが、英和生のいない英和は英和ではありませんでした。とても寂しい2週間でした。しかし残念ながら新型コロナウイルスの感染は未だに世界に広がり続けています。これを「パンデミック」と言います。ギリシア語で「すべての人々」という意味です。今、世界の人々の生活はほとんどストップしています。

私は若い頃、スポーツでけがをして約2ヶ月半入院したことがあります。幸い手術は成功し、そのほとんどをリハビリで過ごしました。それまでの生活は全てストップして、否応なしに自分の生活をふりかえり、改めて今後について考えました。今、ふりかえると貴重な経験でしたし、心を新たにしておいて歩み始めた時だったと思います。

今、世界はAIの時代へ向かって激しい勢いで変化して、十数年後には今ある職業の半分がなくなると言われています。奇しくも、その激動の時に、世界の人々が目に見えないウイルスによって生活をストップされるということは、一度これまでの生き方をふりかえり、何が善いことなのかをわきまえ、祈る時だと言われているのかも知れません。

まずは正しい知識、これまでの歴史などの教養が必要です。事実を事実として向き合う勇気とたくましさも必要です。そして冷静に考えて、話し合い、決断し実行することです。その時に、英和で学ぶ私た

ちには、その暗闇を照らす光があります。「神様を愛し、隣人を自分のように愛する」という光です。私たちが心を新たにして未来へ歩み出す希望がそこにあります。

(しばらく黙祷しましょう)

祈禱 祈りましょう

わたしたちを愛し、励まされる主よ。

使徒パウロは同じローマの手紙の中で「わたしたちは知っているのです。苦難は忍耐を、忍耐は練達を、練達は希望を生む、・・・神の愛がわたしたちの心に注がれているからです」と言っています。どうかあなたの御光によって私たちの心を照らし、互いに愛し、励まし合い歩ませて下さい。

今、世界の人々が新型コロナウイルスの感染に苦しみ、不安のうちにあります。どうか病にある方々、ご家族、医療看護に従事されている方々に励ましを与え、回復へとお導き下さい。

どうか今日一日もすべてをあなたに委ね、祝福の下に歩ませて下さい。主イエス・キリストによってお願い致します。アーメン